

第2回利根沼田そば文化交流会開催結果

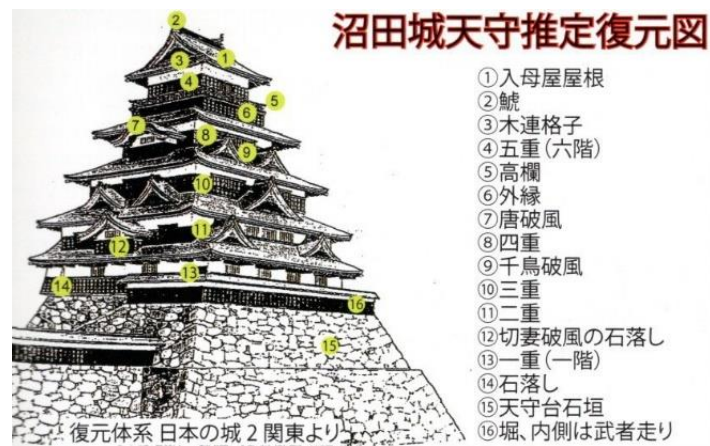


- 1 開催期日 令和5年5月17日(水)
- 2 集合場所 沼田公園正面駐車場
- 3 集合時間 8時30分～9時00分
- 4 参加者 26名

- (1) 9時00分～
 沼田城の特徴と魅力 (講演)
 講師・解説 金井竹徳先生



沼田城は、沼田氏12代方鬼齋顕泰が天分元年頃に築かれました。



この城は、北陸から関東に至る要衝の地にあるため、戦国大名により激しい争奪戦が繰り広げられました。真田家が城主となり、五層の天守閣や櫓、門などを建造し、城下町沼田の基盤を造り、安泰の世をもたらしました。



現在、本丸跡には鐘楼が再建され、真田信吉が鑄造させた城鐘（レプリカが）吊り下げられ朝夕六時に時を告げております。



記念撮影

（このあと、全員で沼田市役所に移動しました。）

- (2) 11時00分～
上州路の石仏と高遠城主の出稼ぎ策（講演）
講師 金井竹徳先生



長い戦乱の世に終わりを告げ、ようやく社会が安定した江戸時代、人々は神仏と結びついた民間信仰が盛んになり神仏に祈りを捧げ、心の拠りどころとしておりました。

そんな中、高遠^{たかどう}周辺は高冷地なため米作りは非常に厳しい状態であり、家計を支えるため、泣く泣く石工になった人もいました。



そのため、腕の良い石工職人が多く育ち、村内には石仏が沢山存在しております。

これを高遠藩の藩主は、元禄4年頃から藩の税収増を狙って石工たちに領外に出て外貨を稼ぐ為に出稼ぎを奨励しました。



御誓文（藩との約束事が記載されている）

高遠石工の多くは農家の二男、三男や山峡の農民でした。出稼ぎは農閑期に行われますが、藩との間に厳しい御誓文を交わし「運上金を必ず納めること」「農繁期には帰ってくること」「旅先で酒を飲んで問題を起こしたりしないこと」などと約束して出ました。そうした甲斐もあり、石工たちは旅先でも素行よく働き、芸術家さながらの優れた技術で石造物を彫り各地で歓迎され、結果として、藩の税収の3分の1を稼ぎ出すに至りました。

(3) 11時10分～

デモ打ち 「上州沼田流」



麺は、延ばすのではなく、つぶすという考え方で打っているそうで、宮田特任師範の見事なそば打ちでした。有り難うございました。

44) 13時00分～

丸のしと裁ち切りそばの体験



戸隠流とは違い、太くて短く、しかもとても軽い麺棒を使っています。



丸く延すのには、やはり大変難しい作業です

菜切り包丁で、しかも手切りでの作業は、大変でしたが、終わる頃には結構慣れてきました。

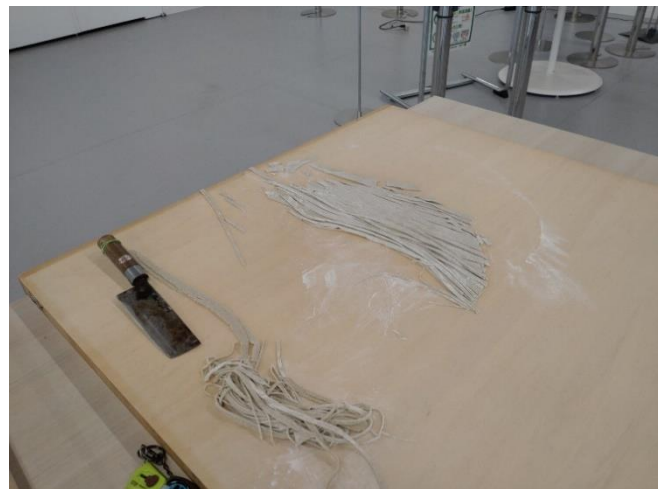
誰も初めての体験とあって最初はおどおどしていましたが、ジャパンの人達はさすがです。結構上手に裁っていました。



たたんで、菜切り包丁で裁っていきます。こちらでは、4枚だたみにして裁っていました。能率が良いかな？



切り揃えをするのがとても難しく、良く揃えられませんでした。



◎ 講習会を終えて

※ 参加者からの感想（抜粋）

- (1) 裁ちそばをやってみて、とても切るのが難しく、改めて、駒板のありがたさを知りました。
- (2) 江戸流の麺は、延ばすのではなく、つぶすという考え方で、打つという事を聞いて、なるほどと思いました。
- (3) 今回、初めて裁ちそばを体験し、大変難しかったですが、面白いですので、今後続けていきたい。
- (4) 日本に残る、いろいろなそば打ちの技法をこれからも学んでいきたいと思います。
- (5) 私達のために、これほど多くの機材を揃えていただきまして、この講習会が出来ました事に、宮田先生並びにスタッフの方々に深く感謝いたします。
今後ともご指導のほど、宜しく願いいたします。



6月28日
水曜日 先負

発行所(〒371-8666)
前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社
(総合)027-254-9911
(編集)027-254-9933
(広告)027-254-9944
(販売)027-254-3131
(事業)027-254-9955
©上毛新聞社 2023年

埼玉の会員と そば打ち交流

沼田そばの会

沼田

沼田そばの会(宮田優一
会長)は、第2回利根沼田
そば文化交流会を沼田市役
所で開いた。埼玉県のそば打ち会
のメンバーら25人ほどが、市内で
そば店を営む宮田会長から沼田流
のそば打ち技術を学び、交流を深
めた。写真。

沼田そばの会は、沼田そばを全
国に広めようと昨年9月に設立さ



れ、そば好きの35人が交流会や技
術研修を行っている。

参加者はこの日、市内の郷土史
研究家、金井竹徳さんによる「上
州路の石仏と高遠城主の出稼ぎ
策」と題する講演も聞き、地域の
歴史や文化にも親しんだ。

(紋合貴史)



上州沼田そばを全国に普及 沼田そばの会で文化交流会

上州沼田そばを全国に普及
しようと活動する「沼田そば
の会」(宮田優一会長)は「第
2回利根沼田そば文化交流会
」を5月17日、市内で開催し、
講演会やデモ打ちで交流をは
かった。

沼田公園に集合した参加者



は、沼田公園散策後、テラス
沼田一階多目的ホールで群馬
石仏の会会長・群馬県歴史散
歩の会利根沼田支部長の金井
竹徳さんが「沼田城の特徴と
魅力」上州路の石仏と高遠城
主の出稼策」と題してそば処
信州とのつながりを講演した。
昼食後、そば打ちの「上州
沼田流」一家元の宮田優一さ
んがデモ打ちを行い、参加
者が「丸のしと裁ち切り」
を体験した。

同会はNPO法人そばネ
ットジャパンに加盟してい
て、会員相互の交流、手打
ちそば伝道師「そばリスト
技能検定会」開催、地域の
そば文化継承及び地域活力
の向上事業などを基本理念
とし、そば打ち講習会など
開催している。
(宮田家元のデモ打ち写真
真提供)